

# 骨粗鬆症治療薬の処方・治療効果の評価で

腰 椎 ・ 大 腿 骨

## DXA測定が注目されています!!

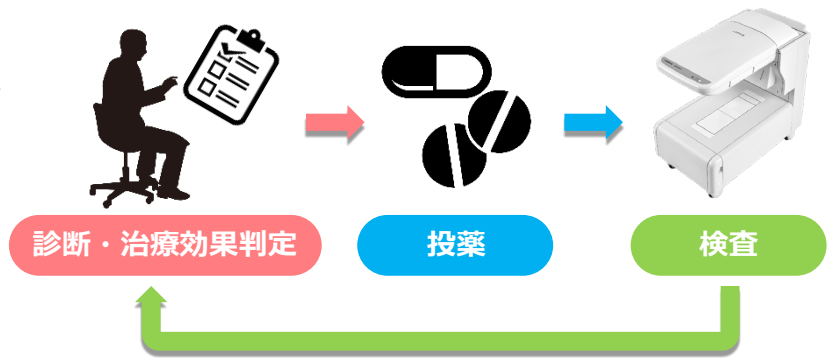
骨粗鬆症の診断における骨量測定はDXA法により腰椎・大腿骨を測定することが  
ゴールドスタンダードとされています。  
また治療効果の評価には感度の高い腰椎DXAの測定値の変化が用いられます。

骨粗鬆症  
治療薬と検査  
について

2019年に新薬が発売され、骨折の予防には投薬と定期的な運動を行うことで骨密度を高めていくことが重要となっています。また投薬効果を見るためには定期的に感度の高い腰椎や次に高い大腿骨近位部の骨密度を測定します。

## 診断・投薬効果判定が『キモ』

骨粗鬆症が進むと薬物療法を始めますが、  
定期的に骨密度を測定する検査を行い、  
投薬効果を判定しながら治療を  
行っていくことが重要とされています。



## D217 骨塩定量検査保険点数

測定方式	DXA法	DXA法	DXA法	REMS法	MD法	超音波法
部位	腰椎	大腿骨	前腕骨	腰椎	中手骨	踵骨
点数	360点	140点	140点	140点	140点	80点

骨塩定量検査は、骨粗鬆症の診断及びその経過観察の際のみ算定できる。ただし、4月に1回を限度とする。  
DXA法により腰椎と大腿骨を同日に測定の場合、腰椎360点に90点加算となり450点になります。  
REMS法により腰椎と大腿骨を同日に測定の場合、腰椎140点に55点加算となり195点になります。

# 富士フィルムヘルスケアが提供する骨密度測定装置

## 腰椎・大腿骨用骨密度測定装置

### ALPHYS LF

既存のX線撮影装置の撮影台や市販の撮影台を組み合わせ、使用可能です。



折りたたみテーブルとの組み合わせ例

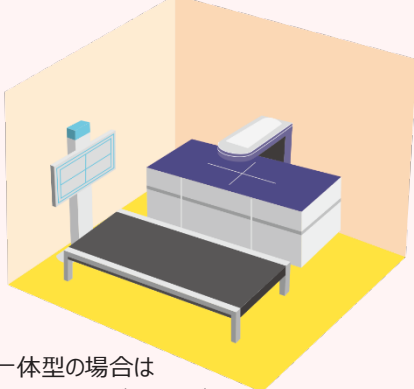


装置の概要はこちらの動画をご参照ください。

#### ポイント1

## 省スペース設計(既存スペースを有効活用した腰椎・大腿骨骨密度測定)

従来の腰椎大腿骨骨密度測定装置



一体型の場合は  
空きスペースがほとんどない

富士フィルムヘルスケアなら  
既存の撮影台に組み合わせ  
可能で、省スペース!!



富士フィルムヘルスケアの  
腰椎大腿骨骨密度測定装置



省スペース

#### ポイント2

## スループットの良さ

X線撮影装置の撮影台と組み合わせるので、臥位での腰椎のレントゲン撮影から撮影台の乗り降りなく骨密度測定が可能です。

撮影時間は、標準モードで腰椎40秒、大腿骨20秒です。  
測定モードは標準のほかにも高精度と高速も搭載しています。



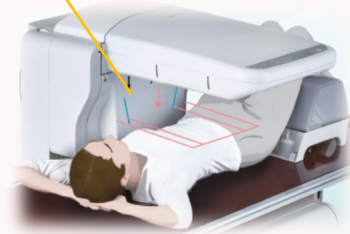
#### ポイント3

## 簡単なポジショニング

ポジショニングに「ガイドライン方式」を採用しました。  
検査になれてない方でも位置合わせ可能です。



上前腸骨稜(腸骨稜)をガイドライン表示灯(青色点灯)に合わせ、上部カバー側面の測定エリア中心線に体軸を合わせます



**FUJIFILM**

富士フィルムヘルスケア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目7番3号  
https://www.fujifilm.com/fhc

- ◆ALPHYSは、富士フィルムヘルスケア株式会社の登録商標です。◆仕様及び外観は予告なく変更されることがございます。
- ◆装置を正しく使用するために必ず「取扱説明書」「電子化された添付文書」をお読みください。
- ◆構成品の医療機器承認番号、医療機器認証番号については、個別製品仕様書を参照願います。
- ◆本医療機器の販売・貸与には販売業・貸与業の許可が必要です。
- ◆ALPHYS LFは、特定保守管理医療機器、設置管理医療機器です。
- ◆本製品を常に安全で最適な環境でお使いいただくため、ハードウェア及びソフトウェアの保守契約へのご加入をお願い致します。

販売名	医療機器認証番号
X線骨密度測定装置 ALPHYS LF	第230AABZX00024000号